

まちの ほっと ニュース

TOWADA
My Town Topics

このコーナーは市内のさまざまな出来事を紹介するコーナーです。

第1回南部地域祭囃子大競演会で最高賞受賞 公園街地区町内会連合会 南部祭囃子大賞受賞

11月30日、公園街地区町内会が小山田市長に、11月15日に六戸町で開催の「第1回南部地域祭囃子大今日競演会」で優勝したことを報告しました。

市長室には小太鼓担当の児童7人と囃子指導者の橋場隆幸さんたちが訪れ、市長が「十和田市から第1回目の大賞が出たこと大変うれしく思います。おめでとうございます」と祝福しました。



受賞報告した公園街地区町内会連合会の子どもたち

和紙で「寅」の和紙工芸に挑戦！

南公民館講座 干支の和紙工芸教室

12月8日、南公民館で干支の和紙工芸教室が開催されました。

この教室は、お正月を前に平成22年の干支「寅」を和紙で表現した作品を作るものです。参加者は、トラ柄模様の和紙をはさみで切り取りながら色紙の上に並べ、ボンドで貼り付けました。細かな手作業に四苦八苦しながらも完成した作品を手に「良い年を迎えたい」と話していました。



和紙工芸教室の参加者の皆さん

健やかに育ててください 100人目の赤ちゃん誕生

市立中央病院では平成20年11月から産婦人科を開設して以来、100人目の赤ちゃんが誕生しました。12月4日に元気に誕生した男の赤ちゃんは3,198グラム。健康で生まれたことを、山田文也さん、智恵子さん夫妻（東北町）は、とても喜んでいました。

蘆野院長は、「かわいい赤ちゃんですね。おめでとうございます」とお祝いし、病院から100人目の誕生を祝って花束が贈られました。



おめでとうございます

プロも驚く らせん状パインカット 東公民館高齢者講座「遊友ひがし」

12月4日、東公民館高齢者講座「遊友ひがし」の参加者約20人が、サンドイッチづくりとフルーツカット（パイン・オレンジ）実習をしました。

中村講師のパインを切る包丁さばきに参加者は皆驚きながら、らせん状パインカットに取り組みました。

クリスマスなどに家族に実習の成果見せたようです。



プロも驚く手さばきをする参加者たち

市民一人1スポーツ 市民屋内大運動会開催

12月6日、総合体育センターで開催の第5回市民屋内大運動会に約600人の参加者がありました。市内16地区に分かれ、個人・団体12種目の競技で順位が競われました。子どもから高齢者まで、さわやかな汗を流しつつ熱戦を繰り広げ、地域同士の交流を深めていました。



力を合わせて勝利をもぎとります

市立中央病院で新渡戸記念館パネル展開催 来院者や入院患者を楽しませています

新渡戸記念館では3月まで、まちなか博物館「伝えたい、ふるさとの風景—明治・大正・昭和 稲生町グラフィティ&三木野八景」パネル展を市立中央病院で開催しています。このパネル展は、新渡戸傳が1859年に稲生川の上水を行い、子の十次郎、孫の七郎の3代で開拓し発展し続けてきた稲生川や街の様子を写真や絵画で紹介したものです。



思い出深い作品が目白押し

「バラ焼きで街を元気に」を合言葉に活動する十和田バラ焼きゼミナールが快挙！ 十和田バラ焼きが東北B-1グランプリ初代王者に

12月5日・6日に八戸市の八食センターを会場に「東北B-1グランプリIN八戸」が開催され、2日間でのべ42,000人が訪れました。東北地区の9団体が出店し、来場者が投票するはしの重さで順位を競い合いました。

本市のバラ焼きは2日間で2,600食を完売し、見事7,730グラムのはしを獲得し、初優勝を果たしました。2位は5,230グラムの黒石つゆやきそば（黒石市）、3位は4,840グラムのあいがけ神代カレー（秋田県仙北市）でした。



タキシード姿が素敵な十和田バラ焼きゼミナールの皆さん

アートでまちづくり 現代美術館 東奥賞受賞

現代美術館が「第62回東奥賞」（東奥日報社主催）を受賞し、12月5日、青森市で賞の贈呈式が行われました。東奥賞は、産業、学術、文化などの各分野で活躍し、郷土の発展に貢献した個人や団体に贈られる賞です。

現代アートの体験空間を、官庁街通りの景観と一体化させる斬新な手法で創出したこと、商店街や市民ボランティアとのつながりにより商店街の活性化に寄与したことなど、郷土の文化に新風を吹き込んだことが評価され、今回の受賞になりました。

村山現代美術館館長は「本受賞を今後の活動へのエールと受け止め、さらなる努力をしていきます」と話していました。



多くの来館者を魅了してきた作品



佐々木 照代さん（62歳）

西十三番町

社会福祉の向上に貢献、朗読奉仕者として尽力しました

平成21年度県褒賞
受賞おめでとうございます